

# 大雨に備え、水害対策を拡充！

1. 内水ハザードマップの改定
2. 排水ポンプ車の導入
3. 下水道管内の水位情報を公表

近年、気候変動の影響が指摘されるなか、全国的に毎年のように水害が発生しています。横浜市においても時間降雨量 100 ミリを観測するなど下水道の整備水準を大きく上回る大雨が発生しています。

大雨に対する備えを強化するため、想定しうる最大規模の降雨を対象として「内水ハザードマップを改定」するとともに、浸水発生後に迅速に復旧するため「排水ポンプ車を導入」します。

また、速やかな避難行動に役立てていただくため、横浜駅周辺の「下水道管内の水位情報を公表」します。

## 1 内水ハザードマップについて

大雨時に下水道管や水路からの浸水が想定される区域や浸水する深さなどの様々な情報をまとめたマップです。これまでのマップは、平成 16 年台風 22 号の際に観測された時間降雨量 76.5 ミリを対象としていましたが、令和元年 9 月に本市の観測史上最大となる時間降雨量 100 ミリが観測されたことなどを踏まえ、想定し得る最大規模の降雨（時間降雨 153mm）を対象とした内水ハザードマップに改定を行いました。

### (1) インターネットでの公表

6月28日（月）より横浜市ウェブサイト、および行政地図情報提供システム（わいわい防災マップ、だいちゃんマップ）に 18 区全ての情報を掲載します。

環境創造局HP：<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/naisuihm/>

行政地図情報提供システム：<http://www.city.yokohama.lg.jp/>



内水ハザードマップ 横浜市

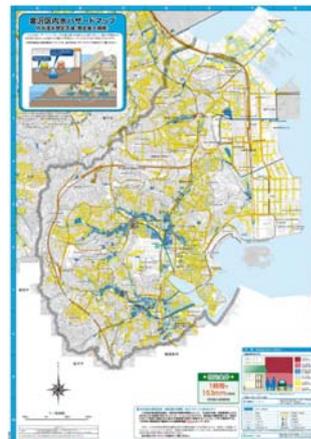
### (2) 印刷物での配布

内水、洪水、高潮のハザードマップを 1 冊にまとめた「浸水ハザードマップ」として配布します。

令和 3 年度は、神奈川区と金沢区、令和 4 年度に残りの 16 区で全戸配布をする予定です。



平成 26 年作成



改定後

内水ハザードマップ  
改定イメージ  
(金沢区の例)

裏面あり

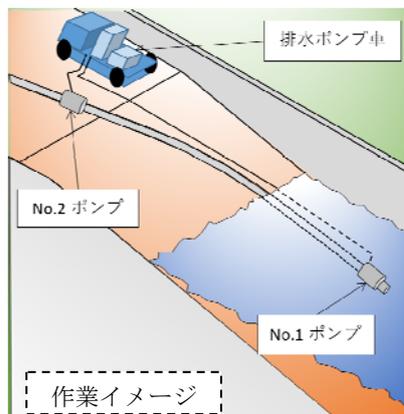
## 2 排水ポンプ車の導入について

排水ポンプ車（吐出量：2.5m<sup>3</sup>/min）2台を導入します。大雨により発生した道路冠水などの浸水被害が継続している箇所において、被害の早期解消を目的として、7月1日（木）より運用を開始します。



### ポンプ車概要

- ・重量：5 t
- ・全長：4,650mm
- ・全幅：1,670mm
- ・全高：1,930mm
- ・揚程：20m /台



※6月29日（火）に新浦島ポンプ場（神奈川区新浦島町）で排水ポンプを使用したデモンストレーションを実施予定

## 3 下水道管内の水位情報の提供開始について

横浜駅周辺地区の下水道管内（4か所）を流れる雨水の水位情報を発信します。リアルタイムの情報を提供し、市民や地下街管理者の皆様の水害に対する防災意識の向上や、迅速な避難の実行に役立てていただくことを目的としています。

### (1) インターネットでの公表（URL、二次元コード）

6月28日（月）より横浜市ウェブサイトにて情報提供を開始します。

<https://sewerwaterlevel.city.yokohama.lg.jp/>

横浜市下水道水位情報

検索



### (2) 水位情報の例

横浜市下水道水位情報  
Sewer Water Level Information of the City of Yokohama

TOP 水位情報

水位情報(地点1)

最新データ時刻 2021年04月06日 13時40分00秒

水位情報一覧へ

下水道から溢れる恐れがある場合に  
注意喚起が表示されます

マンホール内の水位に連動して  
水位の表示が変動します

地表からの水位 0.00  
管底からの水位 1.31  
1.00

地点1 水位 -1.23m

お問合せ先

環境創造局下水道事業マネジメント課長 赤坂 真司 Tel 045-671-2613